

1月の支出(図書、備品、慶弔、飲食は除く)

38,268円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代) 8,242円
交通費(駐車場、燃料代、高速代) 15,407円
通信費(月刊武松郵送、携帯電話代) 14,619円
支出計 07/1/9~07/2/4 38,268円

寄付 ガキさん、マカさん、Sさん 26,000円

市政を考える 月刊武松

発行日
07/2/5

第80号

12000部発行

たけまつ ただし

頒布責任者: 武松 忠 (市議会議員)
武松政策研究会

医療費助成9.7億円!?

小児医療費助成: 6年で3.8倍! 3.1億円!

■医療費助成9.7億円!

小児医療費助成は95年に始まり、99年までは0歳児のみの助成でしたが、00年に2歳児、02年から3歳児、04年からは4歳児、05年から5歳児までに拡大されてきました。その結果小児医療費助成は6年間で3.8倍の3.1億円まで増加しました。

その一方、高齢者医療費助成は、02-03年度に段階的に68-69歳の助成を打切ったため1/3の0.8億円になっています。

重度障害者医療費助成は、医療費助成に占める割合は最大で5年間で1.5倍の4.4億円になっています。

ひとり親家庭医療費助成は、全体に占める割合は低いものの、98-05年で1.6倍に増えています。

表1 小児医療費助成(通院)の2市8町の状況

市町名	通院対象 年齢	所得制限 1歳以上	備考
小田原市	5歳まで	あり	
南足柄市	4歳まで	あり	4月から就学前
中井町	小6まで	なし	
大井町	3歳まで	あり	
松田町	2歳まで	なし	3歳から就学前は年1万円まで助成
山北町	5歳まで	なし	
開成町	2歳まで	なし	
箱根町	小4まで	なし	
真鶴町	2歳まで	なし	
湯河原町	2歳まで	なし	

■地域差のある小児医療費助成

表1に小児医療費助成(通院)の2市8町の状況を示します。中井町のように、対象が小6までで、所得制限なしの所や、真鶴、湯河原のように対象が2歳までの所があります。

仮に小田原市が中井町の制度に合わせると、年齢で $12/7=1.7$ 倍、所得制限を $1/0.85=1.2$ 倍、合わせて2倍の助成額となり、最大で6.3億円程度になってしまいます。

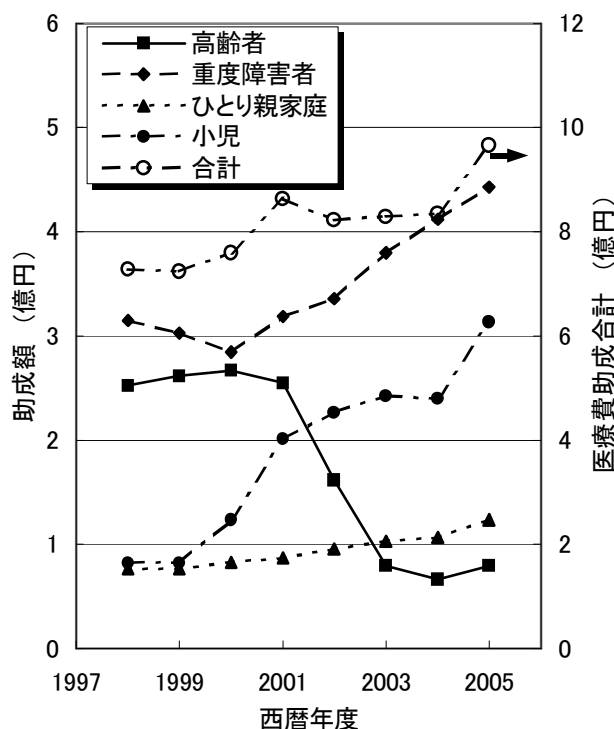
(仮称)城下町ホールの建設に伴う年間の返済額が約3億円と見込んでいますので、小児医療費助成も大型公共事業なのです。

■合併では、サービスは高い方に合わせる?

合併を行う際は、サービスは高い方に合わせる場合が多いそうです。この県西地域が、将来に渡って持続可能性を保つためには、どうしたらいいか? 合併や補助金・助成金はどうあるべきか?

いっしょに考えて行きましょう。

図1 医療費助成の推移



私の街は大丈夫？

■合併を慎重に検討！

年賀状の宛名書きをする際、こんなに自治体合併が進んでいるのかと、驚かれた方も多かったと思います。市民の間に合併議論が巻き起こっている訳ではありませんが、私は、現在の小田原市の規模であれば、将来的にも効率的に行政運営ができると考えています。しかし、近隣自治体の財政が厳しくなり、例えば10年後に小田原市と合併せざるを得なくなると、その間、1市8町で新採用した職員を抱え込まなければなりません。

地方自治体の職員は、基本的に身分保障されているため減らすことができませんから、**団塊世代の大量退職が進むこの時期に、如何に優秀な人材を少数採用できるかに、この地域の将来がかかっている**と思います。

合併し、首長や議員の数が減ったとしても、150人程度の減にしかありません。2市8町の規模と同

程度の自治体と比較して、7～800人も職員数が多いので、もう先延ばしにはできません。

本来であれば、合併することによって、前向きに夢を語りたいのですが、それは首長に任せ、私はあえて、**将来の自治体の人件費を痛みなく減らすには、今行動しなければならぬ**と考えています。

来期の重点政策

■本当に大切なのは情報の共有！

- ・これからも月刊武松を発行します。
- ・行政情報を共有し、問題点を明確にします。

■ずっと安心して住める街に！

- ・自治体合併を慎重に検討します。
- ・助成金や補助金など慎重に見直します。

■税金を無駄使いしない！

- ・民間委託を積極的に進めます。
- ・後年度負担を考慮し、大規模投資は低金利のうちに実施できるよう努めます。

The Voice 今までに頂いたご意見から

防犯灯の増設をお願いします

20代 女性

私の自宅付近には、防犯灯が少なく、**大変暗いため、通勤からの帰宅が怖くて仕方ありません**。本日も、22:30頃走って帰ろうとしたところ、自宅付近に怪しげな人影があったので手前にある民家に助けを求め、住人の方に自宅まで送ってもらった次第です。

以前も私の前を歩いていた女性が、あまりにも暗かったため「一緒に歩いて帰りましょう」と声を掛けてきたくらいです。以前は痴漢が出たという話も聞きます。街灯がもう少し多くて、明るくなれば少しは安全に帰ることができると思います。**防犯灯を増やしていただきたくよろしくお願いいたします。**

相変わらず不審者情報なども多く、できればすぐに対応したいのですが、地域の**防犯灯設置は、まず自治会経由で市へ申請**していただく必要があります。それは、設置後の維持修繕は市の補助金によって各自治会が行うことと、新設の場合は住民同士の協議も必要なためです。

なお、現状は新設が難しいようなので、防犯灯を**高輝度の機種に付け替える方向**だそうです。全てを付け替えること困難な状況ですので、具体的に高輝度にしてほしい防犯灯を自治会長経由で申請していただきたいと思います。

また、各家の**外灯を23:00頃まで点けてもらう地域の活動**もありますので、参考にいただければと思います。

月例勉強会のお知らせ

2月～4月の勉強会は、都合により中止いたします。

次回は5月26日(土)を予定しています。

iモードHP→



HPIは、**YAHOO!**で「たけまつただし」

寄付は、

ジャパンネットバンク 本店 普通7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 大井町支店出張所

普通0051228 武松政策研究会 武松忠 まで

月刊武松は**本人とホウライヤが配布**しているため、行き届かないところがありますが、読み終わりましたら知合いの方にお渡しいただけると幸いです。**郵送希望の方は年末に1年分送付**させていただいております。また**eメール**でも送付していますので**送付先を連絡**下さい。



市議会議員
たけまつ ただし

武松 忠

41歳

小幡在住

妻と一男一女

小田原市立国府津小学校卒
小田原市立国府津中学校卒
神奈川県立西湘高等学校卒
東京職業訓練短期大学校電気課卒
(現 職業能力開発総合大学校東京校)
日本真空技術(株)(現 アルバック)
'86/4～'99/6勤務
現在市議会議員2期目 '99/5～